

海外の学校教育における ICT 活用に関する文献収集

洪瑜霜（京都大学大学院教育学研究科・修士課程）

<概要>

本活動では、資料提供を主要な目的として、2001年以降の、諸外国の学校教育におけるICT活用をめぐる日本語文献を収集し、関連文献リストを作成しました。調査対象は日本語の書籍・論文・調査書です。文献リストの作成や分析を通して、外国のICT教育に目を向ける日本側の研究者の動向が分かりました。文献リストを参考資料として活用し、日本の学校教育におけるICT活用の推進に資することが期待されます。

書籍については、海外の学校におけるICT活用に触れる書籍は数冊あるものの、それを中心的なテーマとして扱っている図書は少ないことが分かりました。また、日本語の論文や調査書では、57本の論文・報告書を収集しました。21世紀初頭から、英国と米国が主要な研究対象として扱われており、2010年代に入ると、韓国と中国におけるICT教育・ICT活用に関する研究が増えています。近年では、研究対象の多様化も見られます。

残された課題として、文献資料の更なる充実や、研究状況の内容面に関する分析の欠如が挙げられます。

1. はじめに

21世紀に入って以来、教育におけるICTの利活用をめぐる議論は長年続いていますが、海外での取り組みが先進例として紹介される場合が多く見受けられます。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、多くの国は休校やオンライン学習を経験し、ポスト・コロナ時代の学校における日常的なICT活用が一層重視されることになりました。こうした流れを受けて、日本ではGIGAスクール構想をはじめ、ICT活用が積極的に推進されようとしています。それに対して、海外のICT政策や教育活用はどのような状況にあるでしょうか。世界におけるICT教育の状況を把握するためにも、また日本の活動にヒントを与えるためにも、海外の状況を知る必要があります。

こうした背景を踏まえて、本活動では海外の学校におけるICT活用を研究している日本側の状況を調べました。海外のICT教育に目を向けて、日本側の研究状況を整理したうえで、資料提供を主な目的として、日本のICT教育を推進する際に参考になるような文献を収集し、リストを作りました。

2. 活動内容

本活動においては、下記の3点に取り組みました。

(1) 文献資料の収集

調査対象の選定にあたって、今回は日本語の著作・論文・調査書に限定しています。

著作については、初等・中等教育を中心に、二つのテーマに分けて検索しました。一つ目は海外の学校におけるICT活用に関する書籍です。二つ目はコロナ禍以前の諸外国の初等・中等教育事情を紹介する図書や、初等・中等教育に関する国際比較研究の図書です。後者を調べた理由は、現在のICT教育の発展や課

題及び成果を理解するために、当該国の以前の教育状況を前提としなければならないことがあります。なお、最近の状況を最大限に把握することを考え、諸外国の初等・中等教育事情に関する書籍の出版時間は 2010 年代以降に限定しました。

日本語の論文や調査書については、主に CiNii を使って、「ICT」「オンライン教育」「デジタル教材」などの単語をキーワードとして設定し、外国の学校教育における ICT 活用及び国際比較研究に関わる文献を探しました。

(2) 文献リストの作成

設定したキーワードに基づき、CiNii を検索し、57 本の論文・報告書を収集し、論文・報告書リストを作りました(表 1 ならびに別紙参照)。作成したリストによると、年度別に見れば、2010 年以前の論文・報告書は 16 本であり、研究のピークは 2013 年と 2015 年(8 本)でした(図 1 参照、次頁)。また、地域別にみると、21 世紀初頭から、英国と米国は主要な研究対象として扱われており、2010 年代に入ると、韓国と中国における ICT 教育・ICT 活用に関する研究が増えています(図 2 参照、次頁)。近年では、研究対象の多様化も見られます。

表 1. 海外の学校における ICT 活用に関する論文・報告書リスト (一部)

著者	論文名	書名・雑誌名	出版社	発行年	ページ数	ひとこと
野々山 新	「韓国におけるICT教育とデジタル教科書の活用：日韓学術文化交流事業に参加して」	世界史教育研究 (5)	愛知県世界史教育研究会	2018	45-48	韓国;ICT教育;デジタル教科書
花井 渉	「世界各国におけるコンピテンシーに基づく教育改革とICT教育政策の動向」	月刊高校教育 51(4)	学事出版	2018	32-35	ICT教育政策
江草 由佳	「海外事例から見るICT活用指導力の育成(特集 教員養成課程等におけるICT活用指導力の育成)」	国立教育政策研究所紀要 147	国立教育政策研究所	2018	39-49	ICT活用指導力;教員養成
時任 隼平、久保田 賢一、 Nguyen Thi Mai Huong, Nguyen	「ベトナムの高校におけるICT活用に関する予備的調査:英語科教育を事例として(情報モラル教育の実践/一般)」	日本教育工学会研究報告集 19(5)	日本教育工学会	2019	55-58	ベトナム;国際教育開発;英語教育;ICT;質的研究
鳥井 新太、上館(山口) 美緒 里、久保田 賢一	「フィリピンの地方で行う小学校理科においてICTを活用できる分野の選定(高等教育におけるFD・SD・IR・学修支援/一般)」	日本教育工学会研究報告集 19(3)	日本教育工学会	2019	55-60	フィリピン;国際教育開発;初等教育;理科教育;ICT活用
門松 愛	「保育におけるICT活用の可能性:諸外国との比較から」	児童教育論集 (3)	三恵社	2019	56-65	保育;ICT活用
広瀬 綾子	「自由ヴァルドルフ学校のICT教育-アメリカを中心に-」	新見公立大学紀要 (40)		2019	23-32	ICT教育;アメリカ
浅井 宗海、佐藤 修、譚 奕飛	「日米英の情報教育政策等から考察する将来を見据えたIT人材育成について:初等中等教育におけるICT教育を中心に」	中央学院大学商経論叢 33(2)	中央学院大学商学部	2019	3-14	日米英;初等中等教育;ICT教育
新井 聡	「海外大学最新事情 中国:新型コロナウイルス禍でのオンライン教育」	IDE : 現代の高等教育 (623)	IDE大学協会	2020	61-65	中国;オンライン教育
澤田 裕子	「第8回 成長するオンライン教育と教育情報化政策(中国)」	IDE スクエア --コラム 新興国発イノベーション	日本貿易振興機構アジア経済研究所	2020	1-6	中国;オンライン教育;教育政策

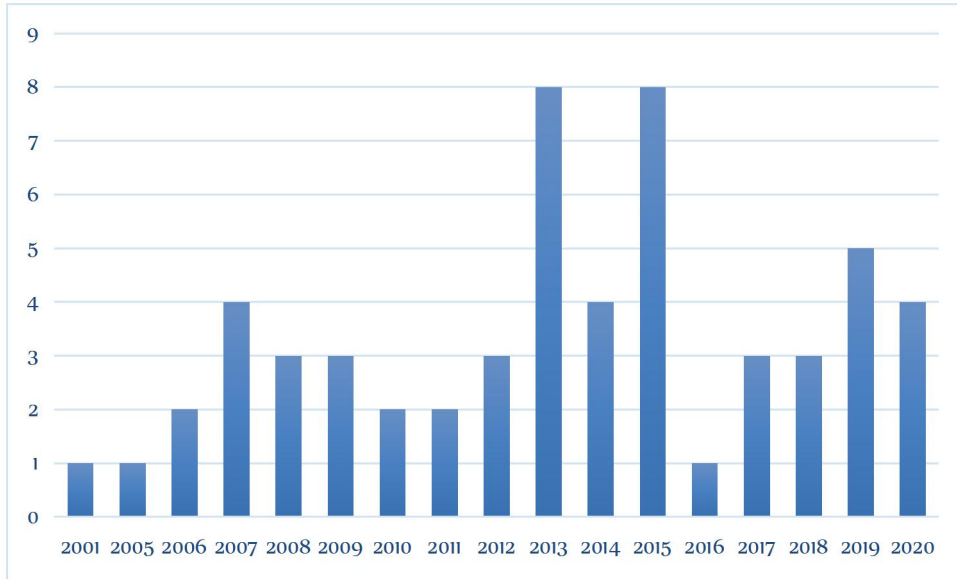


図 1. 年度別論文・報告書数の推移

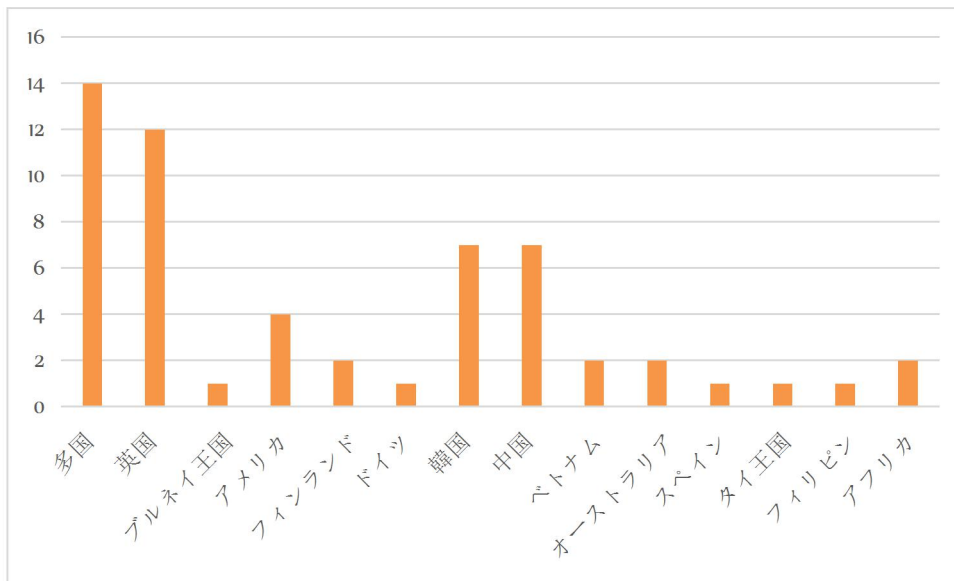


図 2. 地域別論文・報告書数

(3) 関連図書の購入

海外の学校における ICT 活用に関する書籍を探すと、関連のある内容に触れる書籍は数冊あるものの、それを中心的なテーマとして扱っている図書は少ないことが分かりました。日本の状況を紹介するときに外国の状況や事例を参考にして言及することや、翻訳本であることが多いです。それ以外では、デジタル社会とか、新型コロナウイルスによる社会への影響を議論する場合、IT と教育に関する内容を一章ぐらいの分量で説明する本もあります。表 2 は海外の学校における ICT 活用に関連のある和書のリストと、外国の状況と関わる部分を示したものです。

海外の学校における ICT 活用と、諸外国の初等・中等教育事情の二つのテーマをめぐって、ネットショップ

で検索された和書のリストを作りました。そして、そのリストを基に、近年に出版した本を中心に、関連書籍を購入しました。

表 2. 海外の学校における ICT 活用に関わる和書

書名	著者	出版年	出版社	外国に関わる部分
ICT 教育の実践と展望—デジタルコミュニケーション時代の新しい教育	久保田 賢一(著),黒上 晴夫(著),水越 敏行(監修)	2003	日本文教出版	諸外国の状況に言及
日本の ICT 教育にもの申す! : 教育プラットフォームによる改革への提言	関島 章江	2015	インプレス R&D	海外の事例の援引
初等中等教育における ICT 活用	高橋 純, 寺嶋 浩介 編著	2018	ミネルヴァ書房	第 8 章 諸外国における ICT 活用の動向
学びの質を高める! ICT で変える国語授業 —基礎スキル&活用ガイドブック—	野中 潤(著, 編集)	2019	明治図書出版	「海外と日本の学習 ICT 活用はどこが違うのか」に言及
EdTech エドテック テクノロジーで教育が変わり、人類は「進化」する	山田 浩司	2019	幻冬舎	「米国で始まり日本へ 次々と生まれるエドテックサービス」に言及
デジタル・シティズンシップ: コンピュータ 1 人 1 台時代の善き使い手をめざす学び	坂本 旬(著),芳賀 高洋(著),豊福 晋平(著),今度 珠美(著),林 一真(著)	2020	大月書店	「世界標準」のデジタル・シティズンシップ教育の紹介
教育 AI が変える 21 世紀の学び : 指導と学習の新たなカタチ	ウェイン・ホルムス(著),マヤ・ビアリック(著),チャールズ・ファデル(著),その他	2020	北大路書房	外国書籍の翻訳
デジタル社会の学びのかたち Ver.2: 教育とテクノロジーの新たな関係	A.コリンズ(著),R.ハルバーソン(著),Allan Collins(著),Richard Halverson(著),その他	2020	北大路書房	外国書籍の翻訳

3. 成果と課題

本活動では、海外の学校における ICT 活用を研究している日本側の状況を調べました。2001 年以降の諸外国の ICT 教育に関する日本語の研究成果をまとめることを通して、関連文献リストを作成しました。論文・報

告書リストの作成にあたっては、資料が見やすくなるように整理しました。リストの一覧を見ると、日本の研究者らがどの国に目を向けているのか、学校教育における ICT 活用のどの方面に関心を示しているのかが分かります。このリストを活用し、日本の学校教育における ICT 活用を考える際に、少しでも参考になれば嬉しいです。

なお、残された課題として、今回の調査対象は日本語の書籍・論文・調査書に限定していますので、英語の文献を整理できると、資料をより充実させることができます。データベースによっては、関連文献の漏れがある可能性も存在します。また、論文・報告書リストに関しては、研究テーマの整理や、学校教育における ICT 活用の類型化など、研究内容に対する更なる分析が求められます。

(2021 年 3 月 24 日入稿)